

事務事業評価票「市単独補助金」

平成 26 年度

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析

視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	25年度実績において、金融指導は282件、記帳指導は1,429件を数えており、本市中小企業の事業活動にとって、中小企業相談所の事業はなくてはならない存在である。
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	市内中小企業が、その経営安定と発展のために適切な金融指導や記帳指導を受けることは、本市産業の振興と経済活性化に大きく寄与することであり、その業務を行う中小企業相談所に対する所要の支援を行うことは妥当と思われる。
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助成の在り方等の見直し 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	補助事業者の島原商工会議所は、商工会議所法においてその目的に「その地区内における商工業の総合的な改善発展を図り、」とあり、本事業はその目的のために実施されるものである。

○総合評価と今後の方向性

総 合 評 価	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 繼続(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など) → () <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む) → ()
	判 定 理 由	本事業は、市内中小企業がその経営安定と発展のために必要な金融指導や記帳指導を行う中小企業相談所に対する補助であり、補助事業者の島原商工会議所も、商工業の総合的な改善発展を目的とした団体であることから、事業内容、補助事業者とも本市産業の振興のために適切なものと思われる。
今後の課題と見直しの 方向性(総合評価判定が B1~B4の場合)	課 題	
	見 直 し 方 向 性 の	

◎2次評価

判 定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し
備 考	島原商工会議所の大きな事業の一つである中小企業相談業務に対する運営費補助であり、一定の補助の必要性は認められる。補助金の有効活用をしながら、本来業務の拡充に努められたい。

◎3次評価

判 定	
備 考	

評 価 結 果 を 踏 ま え た 次 年 度 予 算 へ の 反 映 状 況 (□)				
<input checked="" type="checkbox"/> 補助額の削減	<input type="checkbox"/> 補助額の増加	<input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	⇒ 予算措置額の増減 △ 350 千円
備 考				

(中 小 企 業 相 談 所 補 助 金)